

総務文教委員会で、図書館廃止・使用料引上げ議案否決



図書館守ってと市交渉 12. 8

育長に懇願 友の会

このうち図書館中部分館の廃止、使用料・利用料の上げ、市議会議員と市長、副市長、教育長の期末手当引上げの4議案が否決されました。財政非常事態宣言」と独断で進めた小池ゆき子市長の市民いじめを跳ね返し、議会の良識を示す結果となりました。

まず委員会で否決

関係者一人が「中部分館守つてほしい」と要請しました。委員会での議案審査では、

使用料手数料も引上げ待った

使用料手数料の引上げ条例は、22施設で
1,528万円。社会教育登録団体329
団体の半額減免廢止で年2,400万円。

議会のチェック機能と民主主義が示された
快挙です。

人勧期末手当引上げ 議会と3役否決

人事院勧告による期末手当の引上げも市議会分合計72万5438円は全員反対で否決。市長、副市長、教育長の期末手当、合計19万6343の引上げも2対4で否決となりました。

本会議でも否決で

総務文教委員会を傍聴された図書館を守りたいと願う市民の方は、教育部長が、ちゃんと懇談した中身を言つてくれた。多くの図書館を愛する人たちの思いが届いて本当にうれしい本会議でも否決を願つています」と喜びの声を届けていただきまし

使用料、手数料主な引上げ影響額	
施設名	年間引上げ額
22公共施設	1528万円
登録団体半額減免廃止	2400万円
児童クラブ利用料引上げ	1628万円
元気っス館	176万円
ららくるにしばた	18,600円
市民病院	1,200万円
未紹介初診料	932万円
保健センター検診料	288万円

トランプ関税も、国際法を犯して身勝手は許さないと、世界の国々と運動をすることです。アメリカに頼らない、内需中心の経済に切り替えて行くことです。

これらに尻込みしながら、弱い市民に負担強化を押し付けるのでは、自治体トップの責任を果たすことはできません。大企業にアメリカに物言えるか、それが問われています。

小池市長を先頭に「財政難」が行政全体をおおっています。しかし財源確保の道、法人市民税率を最低の6%から8・4%にすることをタブー視していたのでは、未来は見えてきません。国に対しても、全国の自治体や国會議員も動かして12・3%に法人税率をもとに戻させること。市民病院への診療報酬不足分を国に要求することなど、やることはたくさんあります。

あきらめて、医療や社会保障の財源を削つて軍事費に投入する政府にもの言えないのではダメです。

法人市民税8.4%

タブーでは未来なし

第2次 削減計画 12月1日発表 給食費・都市計画税引上げ、中学校トイレ、あおいパーク改修など凍結・削減

第2次 削減計画 2025.12.1発表

削減事業	影響額(万円)	実施時期など
1 防災無線廃止	100	2026年1月～
2 次世代自動車購入補助	200	電気自動車など補助
3 可燃ゴミ袋有料化	2000	2027年～
4 給食費引上げ	8200	2026年4月～
5 中学校長寿命化計画凍結	4億7800	トイレ改修など
6 小中幼PTA補助廃止	10	
7 南部プラザ改修凍結	3億7000	R7～9
8 美術館企画展1回減	1000	
9 夢の教室廃止	20	
10 水族館特別展1回減	30	
11 スポーツ大会補助金2割減	8	
12 個別健康診査	100	喀痰検査400→500円
		子宮がん検査700→1000円
13 高齢者無料入浴券	2100	
14 敬老会	1500	理容、消火器、おむつ券縮小
15 衣浦港湾会館廃止	1800	アジア大会以降閉鎖
16 都市計画税引上げ	2億3000	0.25→0.3 R9年度～実施
17 あおいパーク大規模改修凍結	4000	R8以降

小池市長の削減施策ぞくぞく

小池市長のゴマカシ「財政非常事態宣言」のもと、11月5日の第一次削減策に続いて、12月1日付で第2次削減策が、議員に投げ込まれました。何の説明もなく、学校のトイレ洋式化などの改修計画約5億円が凍結。都市計画税引上げも令和9年度から実施で2億3千万円の増額。学校給食費も来年4月から引き上げで8200万円増となります。これだけの計画を、市当局の一方的な発表ですますなど常軌を逸しています。

小池市長は、来年1月28日には、第3次の削減計画を

第3次も予定

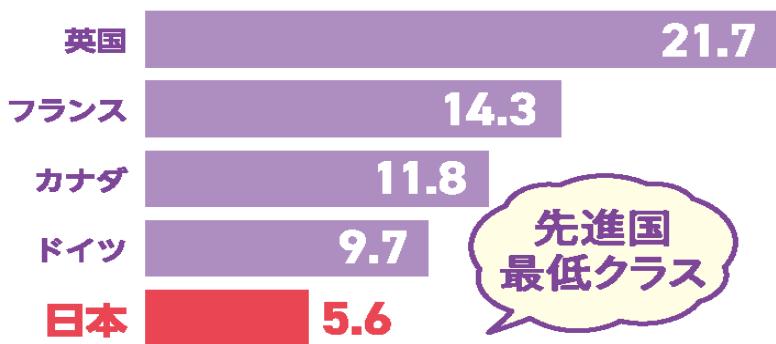
実施計画として盛り込み発表するとしています。水道下水料金などの引上げがよそされます。

市民のくらしが破壊される

「ご乱心」ではの声が市民からあがるような異常な碧南市政。国の高市政権でさえ、物価高騰の対策を取らざるを得なくなっているのに、市民の生活の実態をちゃんと見ていてるのでしょうか。市民の怒りの声をちゃんと聞くとしているのでしょうか。碧南市議会で議案を否決しているように、異常な政治にストップをかける力は市民の世論です。議会と市民で一歩一歩前進されてきた宝の施策を守り前進させましょう。

市民のふとこうを温めなければ、碧南市の経済も好転させることはできません。

人口100万人あたりの国會議員数



民意切り捨て許さない
国會議員定数削減

日本共産党碧南市議団



市議会議員 市議会議員
山口はるみ 機貝明彦
☎42-8940 ☎48-2718
三度山町2-70-4 若松町3-253

午前11時～12時 へきなん
12月19日(金) 拡大・大増税許すな
碧南市東浦町6-17

申込は
ここから

